

# 水素保安戦略の策定に係る検討会

## 目指すべき方向性の整理（報告書の骨格）

### 目的

世界最先端の日本の水素技術で、世界最先端の水素社会を実現し、安全・安心な利用環境を社会に提供する

### 方法（行動方針）

- ① 徹底した技術開発
- ② 水素社会の段階的な実装
- ③ 安全・安心な水素利用環境の整備  
(世界最先端の保安ルール策定と国際基準作りの先導)

### 主な手段

- 国の予算を活用する最先端の技術開発プロジェクトにおける安全・安心の確保に繋がる科学的データ等の戦略的獲得
- 円滑な実験・実証環境の実現
- 競争領域と共有領域に分け、共有領域について、官民で課題認識をすりあわせ、データ・知見を徹底的に共有
- 今後の道筋の明確化
  - 技術開発・実証段階：詳細事前評価制度・特区等を通じた既存法令を活用した迅速な対応
  - ↓
  - 商用化段階：新たな技術基準の設定等の恒久的な措置
  - ↓
  - 合理的・適切な保安体系へ
- 強力な第三者認証機関の育成
- 優先的に取り組む対応方針の設定  
(時間軸、水素・アンモニアの現実的な使用感の把握)
- 新たな技術基準の策定等における技術基準の共通化
- 官民連携の下、主要各国の動向等を把握し、国際標準の策定など国際的な議論をリード